

## 港湾における高潮リスク低減方策検討委員会（第1回）議事概要

### 1. 主な議事

○事務局より、検討委員会の進め方、港湾における台風21号による被害及び必要な対策と検討内容について説明した上で、委員による意見交換を行った。

### 2. 主な意見

○波浪観測が神戸1点しかないため、波の特性を把握しにくく、観測の充実を図る必要があるのではないか。実際の観測は難しいが、撮影されている動画を活用すれば堤外地の外力等は画像解析等である程度把握できると考えられる。

○コンテナターミナルにおける漂流物防止柵の検討の際には、荷役機械等による設置場所が制限されるので留意が必要である。

○港湾BCPに高潮が想定されていない。事前防災の考え方の追加とともに、発災後の津波と同様な計画が考えられる。

○災害については、よく最大規模の検討を要求されるが、堤外地の高潮災害においては、中規模の頻度が多いため、その点を中心に検討すべきである。

○きちんと事前対応して被害が起きなかった事例に加えて、台風21号の教訓を踏まえて台風24号で対応した事例をガイドラインに追加する必要がある。

○海岸堤防の天端高については、現象の解明を十分に行った上で、別途、十分な議論を行う形を考えるべきである。